

ハンギョレ新聞社・ハンギョレ経済研究所主催  
「EAST ASIA30」会議参加報告

- ・日時：2010年8月21日～22日
- ・場所：韓国仁川市・ベストウェスタンプレミアホテル
- ・参加者：日中韓の専門家、ハンギョレ新聞とハンギョレ経済研究所関係者、KoCSR関係者など。
- ・会議概要：

ハンギョレ新聞社・ハンギョレ経済研究所主催で行われた「ESAT ASIA30」会議では、日中韓の専門家10人（各国3人＋委員長）で構成された専門家委員会会議を開き、アジアの社会的責任評価モデルについて討論を行った。日本からは後藤敏彦氏、江橋崇教授、藤井敏彦氏（今回欠席）がそれぞれ環境・社会・ガバナンス分野の専門家として委員会に参加した。

今年プロジェクトでは、アジア的評価システムを構築することと、それに基づいて日中韓の代表的な企業350社を対象に社会・環境・ガバナンスの三分野について評価し、優秀企業30社を選び出すことなどを目的としている。

専門家委員会の初めての会合である今回のインチョン会議では、二日間にわたって評価システム作成をめぐる議論を行ったが、まず環境・社会・ガバナンスの三つのエリアに分けて、エリア間のウェートを付けて、次にクライテリアを確定し、クライテリア間のウェートをつける作業を行なった。会議では全体会議以外に、国別専門家のグループ会合と、ESG三分野のグループ会合も行い議論を重ねた。専門家の間では、意見がぶつかることも多く見られたが、最終的にエリア、クライテリアともに、合意に達した。

今後はこの結果に基づき、ハンギョレ経済研究所と、EiRis、KoCSRが企業分析を行い、その結果に基づいて、11月に専門家会合で最終的に2010年度の30社の企業リストの確定を目指す。

- ・「EAST ASIA30」会議に関するハンギョレ新聞記事（2010.8.23、25）参照：  
[http://english.hani.co.kr/arti/english\\_edition/e\\_international/436301.html](http://english.hani.co.kr/arti/english_edition/e_international/436301.html)  
[http://english.hani.co.kr/arti/english\\_edition/e\\_business/436665.html](http://english.hani.co.kr/arti/english_edition/e_business/436665.html)